



門のハーフの順とする。スタート位置は、競技役員の指示に従うこと。

なお、車いすロードレースの部門のスタート順は主催者において決定する。

- (5) フィニッシュライン通過後は、ライン付近にとどまらず、係員の指示により速やかに移動すること。

## 8. 競技中の事故について

競技中に事故が発生した場合の応急の処置については、主催者において実施するが、治療費は原則として競技者の負担とする。健康保険証（コピー可）持参のこと。

## 9. 表彰・記録について

- (1) 3km入賞者は、10時30分から表彰を随時行なうので、フィニッシュ後は、表彰式会場に集合すること。
- (2) ハーフ・10km入賞者は、13時30分から表彰を行なうのでフィニッシュ後は、表彰式会場に集合すること。  
また、雨天時は体育館で表彰式を行なうので、放送に注意すること。
- (3) 記録の確認は、各人の完走証または会場内記録掲示場所において各自で行なうこと。

## 10. ID（自動計測システム）使用について

本大会はIDタグの使用によるタイム・着順の自動判定を行なう。

- (1) 封印されているナンバーカードに小袋入りの計測用IDタグが貼り付いているか確認する。
- (2) 計測用IDタグは、フィニッシュ後まで、取りはずさないこと。IDタグを取り付けていないと記録計測ができないので注意すること。
- (3) IDタグのついているナンバーカードを必ず胸に付けること。（レース仕様車いす以外の参加者・一般の部）
- (4) レース仕様車いすの参加者用計測IDタグは、フロントフォーク（前輪フレーム）部分に取り付ける。
  - ① 計測用IDタグをフロントフォークに貼り付ける。
  - ② 「ナイロン袋結束バンド」を縛り付ける。
  - ③ バックアップとして、計測用IDタグの付いているナンバーカードを背シートもしくは背中に付ける。
  - ④ ヘルメット2箇所（前後または左右）に貼付用ナンバーカードを貼り付ける。
- (5) フィニッシュ地点に敷設してあるセンサーマットを必ず通過すること。
- (6) IDタグは、フィニッシュ後回収するので、係員の指示に従って返却すること。受付のみを済ませ走らなかった場合、途中棄権、失格等の場合も必ず返却すること。
- (7) IDタグを返却しない場合は、実費を請求させていただくこととなるので、注意すること。
- (8) 完走証は、フィニッシュ後に完走証発行所で渡すので、必ず本人が行くこと。ただし、車いす選手の場合は選手付添係に頼んでもよい。

## 11. 食事について

食事は、会場内のふれあい広場の食事を利用する。ふれあい広場の選手昼食引換所で、「参加通知書 兼 食事引換券」を提示し、希望するお弁当と交換すること。ただし、それぞれ数に限りがあるので、希望する食事内容のものと交換できないことがあるので、あらかじめご了承ください。

[ふれあい広場運営時間] 10:00～14:00

## 12. 駐車場について

- (1) 車いす選手は、総合リハビリテーションセンター内の指定された駐車場を利用すること。会場内に入る際、駐車許可証を提示すること。
- (2) 一般選手は、第1駐車場（総合リハビリテーションセンター前の駐車場／小学校横の空地）、第2駐車場（消防署横）、第3駐車場（岡山県総合教育センター）、第4駐車場（旧森林学習展示館）、第5駐車場（旧サイエンス館）等を利用すること。  
大会当日は、9時30分から13時40分まで指定場所において交通規制を実施するので、指示に従うこと。

## 13. その他

- (1) 更衣については国立吉備高原職業リハビリテーションセンター体育館の更衣室を利用できる。  
ただし、大きさが限られているため、車いす選手を優先すること。（8時から利用可）  
また、一般の方は、会場内更衣テントを利用すること。
- (2) スタート地点には、お手洗いを特設しないので、出発前にすませること。また、ビニール袋等は各自で用意すること。
- (3) 車いす選手は、国立吉備高原職業リハビリテーションセンター体育館のシャワー施設を利用できる。